

平成18年度 9月補正予算案の概要

京 都 府



編成の基本的な考え方

緊急課題への対応

◆ 7月豪雨被害への対応

◆ 障害者自立支援対策

◆ 和装関連産業緊急対策

「安心・安全、希望の京都」づくりの
着実な推進

緊急課題への対応

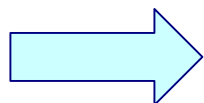


7月豪雨被害への対応

2,168百万円

災害復旧

道路、河川、治山、農地・農業用施設等



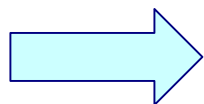
【主な箇所】

国道178号(現在一部通行止)

は年内に復旧見込

災害防止

京丹後市間人地区



緊急地すべり対策を実施

障害者自立支援対策



障害児施設利用者の負担軽減

本年10月から障害児施設利用について
急激な負担増(1割負担、食費等の実費負担の導入)

子育て支援・激変緩和の観点から、所得が
一定以下の方について独自軽減策を実施

国制度の1割負担について、現行の利用者負担額ま
で引き下げ

食費等については、一部独自軽減

生活保護、母子家庭等世帯については、現行と同様
に負担を免除

平成20年度までの暫定措置

14百万円



負担の軽減例

例) 施設に通園する障害児がいる4人世帯

(単位:円)

母子家庭 年収約300～400万の世帯

現行 食費込 (措置費)	0	200
-----------------	---	-----

国 制 度	サービス料	9,450	9,450
	食費等	700	700
	計	10,150	10,150

府 制 度	サービス料	0	200
	食費等	0	700
	計	0	900

月10日利用の場合



新障害福祉サービスへの円滑な移行

317百万円

新たな障害者自立支援制度の下、サービスの提供が安定して行われるよう、施設運営の緊急支援等を実施

- ・ 経営資金の貸付制度(つなぎ資金)の創設
 - * 利子補給により実質無利子
- ・ 経営相談窓口の設置
- ・ 人材育成のための研修の充実



和装関連産業緊急対策

15百万円

和装の需要開拓に向けた

職人さんによる

フェア等の開催

「安心・安全、希望の京都」
づくりの着実な推進



主な事業

2400万円

地域医療教育の推進 (京都府医療キャンパス構想)

⇒ 教育指定病院制度を導入し、府立医科大学学生の中・北部地域での実習教育を充実

4300万円

北部産業活性化拠点の整備

⇒ 中小企業の技術サポートや先端ものづくり企業の研究開発支援の拠点を綾部に整備

企業立地の推進 8000万円

⇒ 好調な企業誘致を背景に立地補助金を増額
対象企業 47社(見込み)(うち中小企業 35社)



補正予算の規模

一般会計 4,496百万円

9月補正後予算額 819,336百万円

〔参考：9月補正後 821,642百万円〕

他に、医科大学および附属病院特別会計を補正